



校長だより 第40号

すてきな島



H27.12.22 日間賀中学校長 井本 仁

「あいさつは先に」
「返事は大きく」
「気づき、考え、行動する」

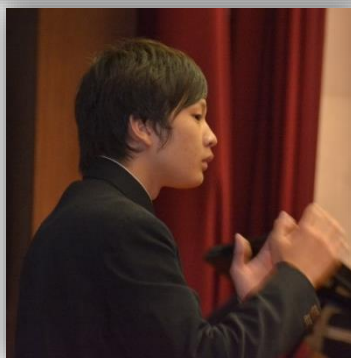
2学期、生徒たちはよくがんばりました。

2学期は、島民体育祭、学校祭、持久走大会、合唱コンクールと、大きな行事がとても多くあったわけですが、生徒たちは本当によくがんばったと思います。どの行事に対しても前向きに取り組み、充実したものにできるというのはすばらしいことです。今後も生徒たちのよさをさらに引き出すことができるように、職員一同努力していきたいと考えています。

この2学期も保護者の方には、さまざまな場面で本当にお世話になりました。ありがとうございました。それでは、よいお年をお迎えください。

12月15日(火)感動した合唱コンクール

どの学年も、これまでの練習の成果をしっかりと出すことができ、すてきな歌声を響かせてくれました。大変感動したすばらしい合唱コンクールとなりました。皆さん、本当にお疲れ様でした。



朝会（12月14日）から

生徒発表（12月のテーマ：人権について）

小暮 輝さん（2年）

- 僕は、これまで人権について深く考えたことはありませんでした。しかし、先日、中学生がいじめを受けて自殺したというニュースをテレビで見て、人権というものがあるのに、なぜいじめが起これ、自殺をしなければいけなかったのかと思いました。このことをきっかけに人権について詳しく知りたくなりました。
- 自殺や殺人などが減っていないということで、人権は存在しているのか疑問に感じていましたが、テレビを見てみると、人権によって救われている人もいるということがわかりました。人権はとても必要なものだと思います。これからもっと事件が減ってほしいです。

教頭先生の話

輝君の発表を聞きながら、人権とは何かと考えてみました。簡単に言うと、「安心」「自信」「自由」の3つの権利だと思います。「安心」の権利、「自信」の権利、「自由」の権利を、奪うのが人権侵害になります。

よく勘違いしやすいのは、「自由の権利」です。自由といっても好き勝手できるわけではありません。「自由の権利」とは、いろいろな場面で「選ぶ権利」があるということです。

浅はかな考えで言った言葉や行動で、あなたの周りの人の「安心」「自信」「自由」を奪っていませんか？一度振り返ってみてください。よりよい人間関係がさらに深まると思います。

浅井 真司 先生の話

私の実家はクリーニング屋を営んでいました。小さなクリーニング屋でしたので、両親共に毎日忙しく働いていました。そのため、小さい頃家族で遊びに行ったという経験はほとんどありませんでした。それでも、そんな母が毎年欠かさず私たち姉弟をつれて行ってくれたものがありました。それは着ぐるみの人形劇でした。小さかった私には、とてもうれしいものでした。

その劇には1つ特徴があり、3つの呪文を唱えないと緞帳が上がらない（劇が始まらない）というものでした。その3つの呪文とは、

「約束守ろう・仲良くしよう・親孝行」

というもので、小さかった私は、劇の緞帳が上がるまで、大きな声で何度も唱えたものでした。今、50歳を過ぎましたが、今でもこの言葉は耳に、心に残っています。

さて、この3つの言葉ですが、実は共通するものがあります。それは「人とのつながり」を大切にしようというものです。日間賀の生徒の皆さんは、日頃から温かな保護者や地域の方に育てられ、人とのつながりの大切さを充分分かっていると思います。

3年生の皆さんはこれからより広い世界へ進みます。より一層人とのつながりの大切さを実感することと思います。時にこの言葉を思い出してください。また、1、2年生の皆さんは明日、合唱コンクールです。今まで一緒に練習してきた友だちを信じ、友だちと一つになってコンクールを楽しんでください。